

# 平成20年度事業報告書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

## [基本方針]

社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の役割と使命は、医学・歯学等の医療関係大学において、態度・技能・知識について評価試験を実施し、医療人としての適性と能力を全国的に一定水準に確保することにある。このために、医学・歯学等の専門領域ごとに大学・学部間で共通の評価試験を実施するとともに、評価基準と成績の向上を目指すことにより、広く医療関係者と一般社会の協力を得ながら、国際的にも遜色のない優れた医療人の育成に貢献しようとするものである。

この基本方針を達成するため、下記事業を実施した。

## [主な事業]

### 1. 共用試験CBT関連事業

(1) 平成19年度までに新たに追加、蓄積されたプール問題を用いて、2008年度後期(平成20年6月～9月)共用試験、2009年度前期(平成20年12月～平成21年3月)共用試験を実施した。

また、実施にあたっては、十分な事前説明会を行い、本機構からモニターを派遣し、適正な試験の実施を確認した。

(2) 試験問題と試験成績は本機構において厳重に管理し、詳細な統計分析を行うため組織体制の整備を行い、学生の成績は各大学ごとに返却するとともに全体成績及び分析結果を公表した。

(3) プール問題の蓄積と入れ替えのために各大学に新規問題作成を依頼し、本機構でブラッシュアップ作業を実施した。採択された新規問題は2009年度前期試験に出題した。

また、2008年度試験実施後に試験問題としての適性度を評価し、優れたプール問題の蓄積を行った。

### 2. 共用試験OSCE関連事業

(1) 実施済みの試験結果を基に学習・評価項目、課題と学習目標、評価表、評価基準等の標準化を進め、実施のための組織体制及びシステムを整備した。

また、各大学の実施体制の改善を支援するとともに、実施日程の調整及び実施に関する大学間の協力を支援した。

なお、実施にあたり、機構からモニター及び外部評価者を派遣し、適正な試験の実施を確認するとともに、評価の公平性、客観性、透明性を担保した。

(2) 各大学から提出された試験成績を基に全体の成績及びステーション別成績等の統計処理結果を公表した。

### 3. 調査研究・開発事業

#### (1) 調査研究事業

- ① 医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの到達目標と共用試験内容の整合性についての検討を行った。
- ② CBT問題の形式と内容及びOSCE課題と評価方法等の改善のための調査・研究を行った。
- ③ 項目反応理論を用いたCBT問題の事後評価方法について調査・研究を行った。
- ④ 歯学系CBT問題の成績評価における項目反応理論導入の妥当性について調査・研究を行った。
- ⑤ OSCE評価項目の信頼性、概略評価の妥当性について調査・研究を行った。

#### (2) 開発事業

- ① CBT問題作成及び問題修正ソフト，システムチェックソフト，試験実施ソフト，成績管理ソフト等についてモデル・コア・カリキュラムの体系変更を含めたシステムの改善を行った。  
また，CBTについてはランダム出題による不公平を解消するために難易度調整システムについての改善を行った。
- ② 各大学におけるCBT実施用サーバー及び端末等の更新状況を調査し，全大学で円滑にCBTを実施するためシステムの改修を行った。
- ③ CBT実施システム検証のため，特殊受験環境でのプレテストを実施した。
- ④ 平成21年度から歯学系CBTで試行される項目反応理論導入のためのシステム開発を開始した。
- ⑤ 各大学におけるOSCE評点入力作業の負担軽減のために開発した評点フォーマットの入力プログラムを改修した。
- ⑥ OSCE課題の作成，管理，出題状況等を管理するため開発したOSCE課題管理システムを改修した。  
また，第2段階の一部として機構，大学間の実施管理業務の軽減及び評価結果の発生源入力から評点シートへ変換等をシステム化するため実施管理システムの開発を開始した。

### 4. 研修・出版・広報活動事業

#### (1) 研修事業

- ① 安定的にCBTを実施していくため，良質な試験問題のプールとその継続的な入れ替えが必要なことから大学教員の問題作成能力の向上を目指して問題作成ワークショップを開催した。  
また，各大学で開催している問題作成講習会等に講師として機構から委員を派遣した。
- ② OSCEの標準的な評価を行うためには，一定水準の評価者の育成が不可欠であることから，評価者認定講習会，評価者養成ワークショップを開催した。
- ③ 共用試験の円滑な実施のための全国説明会を開催した。

## (2) 出版・広報活動事業

- ① 共用試験の導入に至った経緯，意義，経過を含めた「共用試験」案内冊子の改訂版（平成20年度）を発行し，会員大学の学生，教職員及び医療関連機関や一般社会等へ配布した。

なお，第6版冊子には，教職員の理解と学生の学習の参考とするためにCBT例題，OSCE「学習・評価項目」及び「課題と学習目標」を掲載した。

- ② インターネット・ホームページURL <http://www.cato.umin.jp>を通じて，社団法人としての事業活動等の情報公開・提供を行った。

## 5. 国際協力事業

国際的な情報発信のために，共用試験の前提となっているモデル・コア・カリキュラムの英文化作業の準備を始めた。

## 6. 社団法人組織・活動の基盤強化をはかる事業展開

前年度に引き続き，社団法人としての組織・活動の基盤強化を図るために，理事会を核とし，理事会の下部機関として次の委員会を設け，活動した。

- (1) 共用試験実施委員会
- (2) 共用試験事後評価解析委員会
- (3) 共用試験制度・システム開発委員会
- (4) 共用試験広報・推進委員会

## 7. その他

機構未加入の奥羽大学歯学部の入会が理事会で承認され，国公立大学の医学系，歯学系全ての109大学等が会員となった。

平成20年度 社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構会議録

年 月 日	会 議 等	議 事
20. 6. 10 (火)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 平成19年度事業報告書 (案) について ② 平成19年度収支決算書 (案) について ③ 役員を選任について ④ 奥羽大学歯学部の入会について ⑤ 公印規程 (案) の制定について
20. 6. 17 (火)	総会 (機構会議室)	議題 ① 平成19年度事業報告書 (案) について ② 平成19年度収支決算書 (案) について ③ 役員を選任について
20. 11. 25 (火)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 理事及び監事候補者の選考方針について ② 職員給与規程の一部改正 (案) について
20. 12. 22 (月)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 理事及び監事候補者について
21. 3. 5 (木)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 職員給与規程の一部改正 (案) について ② 平成21年度事業計画 (案) について ③ 平成21年度予算 (案) について
21. 3. 10 (火)	総会 (機構会議室)	議題 ① 役員を選任について ② 平成21年度事業計画 (案) について ③ 平成21年度予算 (案) について